

授業科目	音響学 I (一般音響学)				
担当者	松井 理直				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

音の周波数・強さと音圧という物理的性質について詳細な解説を行います。

■ 到達目標

波数・波長の計算、dB の計算方法とその意味することに精通し、聴覚障害および補聴器や人工内耳の物理的性質を正しく説明できる能力の涵養を目指します。

■ 授業計画

- 第1回 音とは何か
- 第2回 振動の伝播と原波形表示
- 第3回 音の4要素
- 第4回 疎密波の大局的な振動スピード
- 第5回 周波数・周期・波長
- 第6回 周波数と周波数レベル
- 第7回 ドップラー効果について
- 第8回 音の強さと音圧
- 第9回 レベルという概念の重要性
- 第10回 パワーレベル B 値の定義
- 第11回 B, dB の計算方法
- 第12回 強さレベルと音圧レベル
- 第13回 聴力レベルの考え方
- 第14回 感覚レベルと音の大きさの心理量
- 第15回 レベル概念と精神物理学的関数

■ 評価方法

学期末のテストによって評価を行う。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

予習時間は 90 分程度。復習時間は個人の理解度によるが、1 時間程度。

■ 教科書

プリントと web 教材を用います

■ 参考図書

授業中に指定します

■ 留意事項

質問などは大歓迎です。授業中に分からないことがあれば、必ずその場で質問をするようにしてください。新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

■ 講義受講にあたって

対面授業の場合、事前に web 上で予習を行い、対面授業中は質疑応答を行うという形の反転授業を用いることがあります。